

平成 28 年度

住みごこち一番・可児に向けた連携協定締結企業の紹介

OKB 大垣共立銀行 可児支店（土田出張所・西可児出張所 含）

住所 可児市広見 1-39

業種 金融業、保険業

従業員 男性 16 名、女性 37 名 計 53 名

（平成 28 年 10 月登録届出現在）

OKB 大垣共立銀行は、「地域に愛され、親しまれ、信頼される銀行」という基本理念のもと、「お客さま、株主さま、従業員、市場の評価向上による揺るぎない信頼の確立」を目指し地域とともに歩む銀行である。その一環に地域で働く職員のそれぞれのライフステージや価値観を尊重した職場環境の実現の取り組みがある。

「働き方の見直し」や「ワーク・ライフ・バランス」においては、すでに厚生労働省が実施する次世代認定マーク「くるみん認定」や岐阜県子育て支援エクセレント企業などにも選ばれ「働きやすい職場」や「子育て支援」において顕著な取り組みが認められリーダー的存在であるが、今回の可児わくわく Work プロジェクトにおいては、介護支援分野において特筆すべき取り組みがあった。

少子高齢社会の進行により近年、介護を理由とする離職、いわゆる「介護離職」は社会的な問題となっている。このような状況において、OKB 大垣共立銀行では、平成 27 年度より介護に関する両立支援制度の充実を積極的に進め、全行員に介護支援の理解と啓発を行い、ヒアリングにより介護を抱える行員の早期把握と相談を実施、更には、介護手当の導入による金銭面での支援と、特に介護休業期間においては法定 93 日を大きく上回る 365 日の取得を認める規則を定めている。

これらの取り組みは、今後、更に深刻化する介護の問題において市内企業の模範となることはもちろん、地方創生に向けた可児市のまちづくりへの大きな牽引力となると言える。



可児支店



店内の様子